令和6年度　年間授業計画

教　科：芸術　　科　目：工芸Ⅱ　　単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	工芸Ⅱ（日本文教出版）
	補助教材：	なし

教科（　芸術　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目（　工芸Ⅱ　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きについて考え、思いや願いなどから個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

令和6年度　年間授業計画　科目（　工芸Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　オリエンテーション	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	2
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	教科書を通じて様々な工芸作品に触れると共に、生活や社会の中の工芸の働きや伝統と文化について理解できるようにする。	工芸Ⅱについての解説				様々な工芸作品に触れ、生活や社会の中の工芸の働きや伝統と文化について理解できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	作者の心情や意図、自然との関わり、生活や社会を心豊かにする工芸の見方や感じ方を深めることができるようにする。	教科書				工芸に対する見方や感じ方を深めることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	0				主体的に鑑賞活動に取り組むことができる。				
	単元　鋳造技法によるリング制作	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	工芸文化について関心を深め、その技法を用いて素材を観察しながら指輪のデザインを検討する力を育成することができるようにする。	鋳造技法の説明、アイデアスケッチ				鋳造技法を用いて制作工程を理解し、使用する用具を考えた上でデザインを検討できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	ロストワックスの加工性や金属の美しさを活かし、機能性と美しさを兼ね備えたデザインを構想することができるようにする。	ワークシート、作品、振り返りシート	○			材料の美しさを活かし、機能性と美しさを兼ね備えたデザインを構想できる。	○	○	○	6
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	0				主体的に創造活動に取り組むことができる。				
	単元　鋳造技法によるリング制作	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	鋳造技法をもとに、様々な工具を活用して立体表現および丁寧な仕上げを行うことができるようにする。	鋳造技法による表現、工具の使用方法、鑑賞				様々な工具を活用して指輪の立体表現および丁寧な仕上げを行うことができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	作業を安全に行い、道具の使い方を創意工夫して形を作り上げることができるようにする。	ワークシート、作品、振り返りシート	○		○	作業を安全に行い、道具の使い方を創意工夫して形を作り上げることができる。	○	○	○	14
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影、講評会での振り返り				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができる。				

令和6年度　年間授業計画　科目（　工芸Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			身	社						
2 学 期	単元　履物と形	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	18
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	伝統文化について関心を深め、生活と密着した履物を制作し生活を彩りあるものにする楽しさを体験することができるようにする。	身体尺度の理解、履物制作による表現、工具の使用方法、鑑賞				履物の制作により、生活を彩りあるものにする楽しさを体験することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	伝統的な履物について見識を深めた上で表現したいものを設定し、立体に形作る上で適した表現方法を探ることができるようにする。	ワークシート、作品、教科書、振り返りシート				立体に形作る上で適した履物の制作方法を探ることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができる。				
	単元　履物と形	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	伝統文化について関心を深め、生活と密着した履物を制作し生活を彩りあるものにする楽しさを体験することができるようにする。	身体尺度の理解、履物制作による表現、工具の使用方法、鑑賞				様々な工具を活用して履物の表現および丁寧な仕上げを行うことができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	作業を安全に行い、道具の使い方を創意工夫して形を作り上げることができるようにする。	ワークシート、作品、教科書、振り返りシート				作業を安全に行い、道具の使い方を創意工夫して形を作り上げることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影、講評会での振り返り				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができる。				

令和6年度　年間授業計画　科目（　工芸Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			身	社						
3 学 期	単元　張り子技法によるランプシェード	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	16
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	空間と光について関心を深め、張り子技法を用いたランプシェードを制作し生活を彩りあるものにする楽しさを体験することができるようにする。	張り子技法の説明、アイデアスケッチ、張り子技法による表現、工具の使用方法、鑑賞				ランプシェードの制作により、生活を彩りあるものにする楽しさを体験することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	伝統的な張り子技法の見識を深めた上で表現したいものを設定し、立体に形作る上で適した張り子の表現方法を探ることができるようにする。	ワークシート、作品、教科書、振り返りシート				立体に形作る上で適した張り子の表現方法を探ることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影、講評会での振り返り				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができる。				
	単元　1年間のまとめ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	１年間を振り返り、言葉などで考えを整理し、作品について見方や考え方を深めることができるようにする。	１年間の作品の振り返り				１年間を振り返り、言葉などで考えを整理し、作品について見方や考え方を深めることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	各作品の制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて振り返ることができるようにする。	ワークシート、作品、振り返りシート	○		○	各作品の制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて振り返ることができる。	○	○	○	2
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	作品記録の見直し				主体的に鑑賞活動に取り組むことができる。				

合計
70